

改訂日 2014年4月 1日

作成日 2012年8月 22日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：D-Dダイマー希釈液

製品コード：SYS-7521DL

化学物質等の名称：アジ化ナトリウム（含有量：0.1%）

会社名：株式会社LSIメディエンス

住所 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

担当部署 薬事部

電話番号（緊急電話番号も同一）03-5577-0609

FAX番号 03-5577-0659

整理番号 1236

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	該当しない	
健康に対する有害性	該当しない	
	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	区分外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん）	区分外
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分外

環境に対する有害性 該当しない

絵表示又はシンボル なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報： なし

GHS分類に該当しない危険有害性

アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性がある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物（水溶液）

成分及び含有量

成分（危険有害物質）：アジ化ナトリウム

化学式： NaN_3

CAS No：26628-22-8

官報公示整理番号（化審法）：(1)-482

含有量：0.1%

適用法令：

労働安全衛生法：指定物質（名称を通知すべき有害物質

：但し、本品は1%未満のため法適用外）

毒物及び劇物取締法：毒物指定物質

（但し、本品は0.1%以下のため法適用外）

化学物質排出把握管理促進法：第1種指定化学物質

（但し、本品は1%未満のため法適用外）

4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気の所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。必要があれば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗い流す。必要があれば医師の手当てを受ける。

眼に入った場合：直ちに多量な清浄水で15分以上洗眼する。必要があれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：速やかに口をすすぎ、必要があれば医師の手当てを受ける。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤：水噴霧、泡消火剤、乾燥砂類

使ってはならない消化剤：棒状放水、炭酸ガス、粉末消火剤、ハロゲン化物

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：

水拭き後、消毒アルコール又は次亜塩素酸ナトリウム液等で拭き取る。人体への措置は特に必要ない。

環境に対する注意事項：情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：飲み込んだりしない。目や皮膚に触れないよう適切な保護具を着用する。

保管：直射日光を避け、冷蔵（2～10℃）で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：情報なし

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：情報なし

保護具

呼吸器の保護具：特に必要なし

手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。

目の保護具：適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

「D-Dダイマー希釈液」

物理的状态

形状：水溶液

色：無色～淡黄色

臭い：ほとんどなし

pH：7.2

沸点：100℃

引火点：データなし

発火点：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる。

危険有害反応可能性：アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性がある。

避けるべき条件：情報なし

混触危険物質：情報なし

危険有害な分解生成物：情報なし

11. 有害性情報：純物質として

急性毒性

経口：ラットの LD₅₀= 45mg/kg (DFGOT vol.20 (2003))

経皮：ウサギの LD₅₀= 20mg/kg (ACGIH (2001))

吸入：吸入（ガス）：GHS 定義における固体である。

吸入（蒸気）：データなし。

吸入（粉じん・ミスト）：データ不足で分類できない。なお、ラット LD₅₀ = 37mg/m³（RTECS (2008)）が報告されているが、ばく露時間が不明である。

皮膚腐食性・刺激性： 情報なし

眼に対する重篤な損傷・刺激性： 情報なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性： 情報なし
皮膚感作性： 情報なし

生殖細胞変異原性： 情報なし

発がん性： 情報なし

生殖毒性： 情報なし

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）： 情報なし

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）： 情報なし

吸引性呼吸器有害性： 情報なし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性： 情報なし

水生環境慢性有害性： 情報なし

13. 廃棄上の注意

使用した容器は、水で十分洗浄した後、慣例法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

本品単体の場合、大量の水と共に流してください。

14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

15. 適用法令

消防法：適用されず

労働安全衛生法：適用されず

毒物及び劇物取締法：適用されず

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：適用されず

16. その他の情報

引用文献：

1. 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社
 2. 毒物劇物データハンドブック 薬務広報社
 3. PRTR-MSDS 対象化学物質の毒性ランクと物性情報 浦野紘平著 化学工業日報社
 4. ICSC (J) (1997)
 5. 危険物DB (2nd、1993)
- その他参考文献は各データごとに記載した。

本データシート内容につきましては、現時点での最新の情報を記載しておりますが、全てを網羅しているものではありませんので、取扱いの際には十分注意して下さい。又、記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。